

平成30年度 無人航空機に係る事故トラブル等の一覧(国土交通省に報告のあったもの)

No.	発生日	飛行させた者 又は所属団体 等	飛行場所	機体 (種類、特徴等)	事案の概要	航空法上の許 可・承認の要否	許可・承認 の有無	当局の対応	報告された原因分析及び是正措置
1	2018/4/6	(不明)	千葉県白井市 (高度4000ft付 近)	無人航空機らし き物体	平成30年4月6日10時10分頃、東京国際空港 に着陸進入中のJAL304便が、千葉県白井市 高度約4000ft付近において無人航空機らしき 物体が高度差約10m飛行しているのを視認し た。無人航空機らしき物体は、黒色で直径約 2m程度とのことであった。	不明	—	・周辺で無人航空機を飛行させた者 の有無を調査したが、確認できてい ない。	【原因分析】 — 【是正措置】 —
2	2018/4/22	個人	神奈川県相模原 市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.5kg	・操縦訓練のため無人航空機を飛行させてい たところ、突如操縦不能となり、回復操作を 行つたが、反応せず、無人航空機を紛失した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	無	・原因分析と再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・機体を常時監視すべきところ、送信 機に映し出された映像に気を取ら れ、周囲の状況や機体の姿勢への 注意力を欠いた結果、樹木等に接触 して墜落したと考えられる。 【是正措置】 ・目視内の飛行を行う際は、機体の 姿勢や周囲の状況を注視し、送信機 に映し出される情報の確認は、安全 確認の範囲に留める。
3	2018/5/1	個人	愛知県弥富市	ヘリコプター 全長約3.6m、 ローター直径約 3.1m、最大離陸 重量約90kg	・農業散布のため無人航空機を飛行させてい たところ、操縦を誤り、墓石に接触し墓石及び 無人航空機が損傷した。 ・本件事案による人の負傷の被害はなかつ た。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	第132条の2第5 号及び第6号 (危険物の輸送 及び物件投下)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・現在確認中 【是正措置】 ・現在検討中
4	2018/5/4	個人	福井県三方上中 郡	マルチコプター プロペラ除く直径 約0.9m、最大離 陸重量約27kg	・農業散布のため無人航空機を飛行させてい たところ、離陸時に突風に煽られ機体が横転 し飛行させる者に接触した。飛行させる者は右 足膝に裂傷を負った。 ・本件事案による第三者の物件の被害はな かった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	第132条第2号 (人口集中地 区)、第132条の 2第1号、第3号、 第5号及び第6 号(夜間飛行、 30m未満の飛 行、危険物の輸 送及び物件投 下)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・離陸時の予期しない突風に対応で きず機体が姿勢を崩したものと考 えられる。 【是正措置】 ・気象状態を常に把握し、状況が 変化した場合は直ちに飛行を中止す る。
5	2018/5/11	個人	福島県大沼郡	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.5kg	・趣味のため無人航空機を飛行させていたと ころ、突如機体が制御不能となり墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	有	・原因分析と再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・送信機と機体の通信が途切れ、何 らかの異常により位置情報が取得 できなくなり墜落したものと考 えられる。 【是正措置】 ・機体のメンテナンス、周辺環境の 確認、他の事故事例の把握や危険 予測を踏まえた飛行計画の立案を徹底 する。
6	2018/5/14	行政機関	宮城県えびの市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.5kg	・調査のため無人航空機を飛行させていたと ころ、突如機体が制御不能となり紛失した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	第132条の2第1 号、第2号、第3 号(夜間飛行、 目視外飛行及 び30m未満の飛 行)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・現在確認中 【是正措置】 ・現在検討中
7	2018/5/26	個人	千葉県東金市	マルチコプター プロペラ除く直径 約17cm、最大離 陸重量約0.4kg	・趣味のため無人航空機を飛行させていたと ころ、自動帰還機能作動中に突如機体が制御 不能となり墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は28時間以上。	不要	有	・原因分析と再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・バッテリー残量が想定より早く消費 したため、予期しない自動帰還機能 の作動によって、水上に不時着し たものと考えられる。 【是正措置】 ・飛行前のバッテリーの残量確認を 徹底するとともにバッテリー残量に注 視して飛行させる。
8	2018/5/28	電力関連業者	北海道上川郡	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.5kg	・山間部での設備点検のため無人航空機を飛 行させていたところ、操縦が不能となり紛失し た。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	有	・原因分析と再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・飛行経路上の障害物を良く確認せ ずに飛行させたため、無人航空機が 立木に衝突したことにより機体が動 作不良となったと推定される。 【是正措置】 ・飛行前に操縦者が飛行経路上にあ る障害物を直接確認し、障害物の多 いところでは、障害物との距離を十分 に確保して飛行させる。

No.	発生日	飛行させた者 又は所属団体 等	飛行場所	機体 (種類、特徴等)	事案の概要	航空法上の許 可・承認の要否	許可・承認 の有無	当局の対応	報告された原因分析及び是正措置
9	2018/6/3	個人	福岡県福岡市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.3kg	・趣味のため無人航空機を飛行させていたところ、突如機体が制御不能となり民家の屋根に墜落した。 ・本件事案による人の負傷はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	第132条第2号 (人口集中地区)	無	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・現在確認中 【是正措置】 ・現在検討中
10	2018/6/4	空撮関連業者	青森県十和田市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.3kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、突如機体が制御不能となり墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は61時間以上。	不要	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・送信機と機体の通信が途切れ、何らかの異常により位置情報が取得できなくなり墜落したものと考えられる。 【是正措置】 ・機体のメンテナンス、周辺環境の確認、他の事故事例の把握や危険予測を踏まえた飛行計画の立案を徹底する。
11	2018/6/11	個人	岩手県下閉伊郡	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.3kg	・趣味のため無人航空機を飛行させていたところ、風にあおられ岸壁に接触し川に墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は5時間以上。	不要	無	・操縦技量や天候等を考慮した飛行を心がける等、安全飛行の徹底について指導した。	【原因分析】 - 【是正措置】 -
12	2018/6/16	報道機関	福岡県朝倉市	マルチコプター プロペラ除く直径 約60cm、最大離 陸重量約3.4kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、操縦を誤り、送電線に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	第132条第2号 (人口集中地区)、第132条の 2第1号、第2号 及び第3号(夜 間飛行、目視外 飛行及び30m未 満の飛行)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・飛行中、障害物の存在を把握していたが、障害物との距離感を見誤ったことが接触した要因と考えられる。 【是正措置】 ・飛行経路の事前確認を実施し、適切な位置に安全管理者を配置するとともに、操縦者に対し助言する等の連携を密にする。
13	2018/6/26	個人	新潟県新発田市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.3kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、突如異音が発生し、制御不能となり墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	無	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・経年劣化に伴う部品の故障が考えられる。 【是正措置】 ・定期的な外部点検を徹底する。
14	2018/7/2	測量関連業者	岡山県倉敷市	マルチコプター プロペラ除く直径 約60cm、最大離 陸重量約3.4kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、自動操縦中に離陸地点から400m先に墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・現在確認中 【是正措置】 ・現在検討中
15	2018/7/5	個人	北海道久遠郡	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.5kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、自動操縦中に樹木に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	第132条第2号 (人口集中地区)、第132条の 2第1号、第2号 及び第3号(夜 間飛行、目視外 飛行及び30m未 満の飛行)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・自動操縦の設定に際し、適切な飛行高度の設定が行われなかったことが要因と考えられる。 【是正措置】 ・飛行経路上の障害物の有無について事前確認を行い、自動操縦の設定を行う。
16	2018/7/15	個人	岐阜県郡上郡	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.5kg	・趣味のため無人航空機を飛行させていたところ、機体を後進させた際に樹木に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	有	・操縦技量や天候等を考慮した飛行を心がける等、安全飛行の徹底について指導した。	【原因分析】 - 【是正措置】 -
17	2018/7/24	建築関連業者	島根県仁多郡	ヘリコプター 全長約3.6m、 ローター直径約 3.1m、最大離 陸重量約90kg	・農業散布のため無人航空機を飛行させていたところ、操縦を誤り電線に接触し損傷させた。 ・本件事案による人の負傷はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	第132条の2第3 号、第5号及び 第6号(30m未 満の飛行、危険物 輸送及び物件 投下)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・現在確認中 【是正措置】 ・現在検討中

No.	発生日	飛行させた者 又は所属団体 等	飛行場所	機体 (種類、特徴等)	事案の概要	航空法上の許 可・承認の要否	許可・承認 の有無	当局の対応	報告された原因分析及び是正措置
18	2018/8/3	個人	千葉県木更津市	マルチコプター プロペラ除直径 約40cm、最大離 陸重量約0.82kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたと ころ、飛行中にバッテリー切れとなり海上に墜落 した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	第132条の2第2 号(目視外飛 行)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・向かい風によりバッテリーが想定よ りも早く消費したものと考えられる。 【是正措置】 ・バッテリーの残量に余裕を持たせる など、適切な飛行計画を立案する。
19	2018/8/6	個人	福島県いわき市	マルチコプター プロペラ除直径 約40cm、最大離 陸重量約1.3kg	・無人航空機を飛行させていたところ、強風に より操縦不能となり紛失した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は50時間以上。	不要	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・飛行中、突風が発生し、自動姿勢 制御機能及びモーターへの負担が大 きくなったことにより、動作不良となっ たと考えられる。 【是正措置】 ・飛行前に気象情報を確認し、監視 員と連絡を密にして飛行させる。
20	2018/8/10	電力関連業者	福島県相馬郡	マルチコプター プロペラ除直径 約40cm、最大離 陸重量約1.5kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたと ころ、付近の鉄塔に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は25時間以上。	不要	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・空撮のためカメラアングルの調整に 意識が集中し、周囲の安全確認を怠 ったため鉄塔に接触したものと考 えられる。 【是正措置】 ・飛行経路の事前確認や監視員の適 切な配置を徹底するとともに、飛行状 況を容易に視認できる距離で飛行さ せる。
21	2018/8/11	個人	静岡県裾野市	マルチコプター プロペラ除直径 約40cm、最大離 陸重量約1.3kg	・操縦訓練のため無人航空機を飛行させてい たところ、突如機体が制御不能となり紛失し た。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は27時間以上。	第132条の2第2 号(目視外飛 行)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・飛行させる者と無人航空機の間に 建築物があったため、電波の送受信 に影響を与えたものと考えられる。 【是正措置】 ・飛行経路上に通信の遮蔽物となり 得る障害物がないことを確認して飛 行させるとともに、常に機体の状況を 監視できる補助者を配置する。
22	2018/8/15	測量関連業者	茨城県守谷市	マルチコプター プロペラ除直径 約1.6m、最大離 陸重量約24kg	・試験飛行のため無人航空機を飛行させてい たところ、突如機体が制御不能となり民家の 屋根に墜落した。 ・本件事案による人の負傷はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	無	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・脱着可能なプロペラアームが不完 全に取り付けられていたため、飛行 中にプロペラアームが適切に保持さ れなくなり、バランスを崩したものと考 えられる。 【是正措置】 ・機体に追加安全処置を施すると ともに、緊急着陸の手順を厳密化する。
23	2018/8/17	報道機関	山口県岩国市	マルチコプター プロペラ除直径 約60cm、最大離 陸重量約3.4kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたと ころ、送電線に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は14時間以上。	不要	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・現在確認中 【是正措置】 ・現在検討中
24	2018/8/19	個人	北海道河東郡	マルチコプター プロペラ除直径 約60cm、最大離 陸重量約3.4kg	・催し場所の空撮のため無人航空機を飛行さ せていたところ、電話線に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は26時間以上。	第132条の2第3 号及び第4号 (30m未満の飛 行及び催し場所 上空の飛行)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・飛行経路上の障害物等の有無につ いて確認不足と考えられる。 【是正措置】 ・飛行時は飛行させる周辺の近くから 全方位への確認を複数人で確実に 実施する。
25	2018/8/21	行政機関	静岡県賀茂郡	マルチコプター プロペラ除直径 約40cm、最大離 陸重量約1.5kg	・施設点検のため無人航空機を飛行させてい たところ、突如機体が制御不能となり紛失し た。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は50時間以上。	不要	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・飛行経路上の山林が電波の遮蔽物 となり、通信環境を悪化させたものと 考えられる。 【是正措置】 ・通信距離、飛行可能時間等にゆと りを持ち、周囲の地形等も十分に考 慮した飛行計画を立案する。
26	2018/8/24	個人	長野県下高井郡	マルチコプター プロペラ除直径 約40cm、最大離 陸重量約0.82kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたと ころ、突風に流され、付近の樹木に接触し墜落 した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は30時間以上。	不要	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・飛行中、予期せぬ突風を受けたこ とにより、樹木に接触したものと考 えられる。 【是正措置】 ・常に天候等の周囲の状況に注意し て飛行させる。

No.	発生日	飛行させた者 又は所属団体 等	飛行場所	機体 (種類、特徴等)	事象の概要	航空法上の許 可・承認の要否	許可・承認 の有無	当局の対応	報告された原因分析及び是正措置
27	2018/8/29	測量関連業者	北海道江別市	マルチコプター プロペラ除く直径 約1.5m、最大離 陸重量約24kg	・測量のため無人航空機を飛行させていたところ、予定経路を逸脱し民家の屋根に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は73時間以上。	不要	無	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・飛行中、カメラジバルの電源供給コネクタが外れたことにより、異常振動が発生し、機体の姿勢安定機能が誤作動を続けた。このため、操作介入不可となり、機体は風により流されたものと考えられる。 【是正措置】 ・カメラジバルの電源供給を司る配線ルートを改善するとともに、飛行前点検で電源供給コネクタの重点的な点検を実施する。
28	2018/9/6	建築関連業者	山形県最上郡	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.3kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、通信が途絶え、山中に墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は50時間以上。	不要	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・飛行中、電波の通信状況が悪化し、自動帰還機能が働いたが、帰還経路上に山林があったため、山中に墜落した。 【是正措置】 ・飛行前の現場確認を徹底するとともに、飛行経路に応じた飛行計画を立案する。
29	2018/9/7	測量関連業者	千葉県千葉市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.5kg	・測量のため無人航空機を飛行させていたところ、機体が風に流され紛失した。機体はその後回収した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は28時間以上。	第132条第2号 (人口集中地区)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・不適切な風速確認であったため、飛行場所では想定より強い風が発生しており、機体が流されたものと考えられる。 【是正措置】 ・風を遮る障害物等がない計測に適した場所で風速確認を実施する。
30	2018/9/11	個人	愛知県西尾市	ヘリコプター 全長約3.7m、 ローター直径約 3.1m、最大離 陸重量約99kg	・水稲防除のため無人航空機を飛行させていたところ、走行中の車両に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は200時間以上。	第132条の2第3号、 第5号及び 第6号(30m未満 の飛行、危険物 輸送及び物件 投下)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・操縦者と補助者の連携不足と考えられる。 【是正措置】 ・飛行経路の事前確認を徹底する。
31	2018/9/17	個人	熊本県阿蘇市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.3kg	・趣味のため無人航空機を飛行させていたところ、突如機体が制御不能となり墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は35時間以上。	不要	有	・操縦技量や天候等を考慮した飛行を心がける等、安全飛行の徹底について指導した。	【原因分析】 - 【是正措置】 -
32	2018/9/17	個人	福岡県北九州市	マルチコプター プロペラ除く直径 約21cm、最大離 陸重量約0.48kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、送信機モニターの画像が乱れ川に墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は20時間以上。	不要	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・機体の点検不足、電波干渉や低高度飛行等が墜落に至った要因と考えられる。 【是正措置】 ・機体の綿密な点検を徹底するとともに、低高度等の飛行は行わない。
33	2018/10/8	研究機関	愛媛県西宇和郡	マルチコプター 全長約112cm、 最大離陸重量約 9.1kg	・防災訓練のため無人航空機を飛行させていたところ、突如機体が制御不能となり海上に墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	第132条の2第2号、 第3号及び 第4号(目視外 飛行、30m未満 の飛行及び催し 場所上空の飛行)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・飛行させる者の経験不足と考えられる。 【是正措置】 ・事故事例等の把握及び適切な飛行計画の立案を徹底するとともに、緊急時の対応について訓練を実施する。
34	2018/10/13	測量関連業者	静岡県静岡市	マルチコプター プロペラ除く直径 約60cm、最大離 陸重量約3.4kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、突如機体が制御不能となり付近の橋梁に接触した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	第132条の2第2号 (目視外飛行及 び30m未満の飛行)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・位置情報の受信不良及び飛行させる者の操作ミスと考えられる。 【是正措置】 ・位置情報の受信状況を常に監視し、異常を検知した際は速やかに着陸させるよう手順を徹底する。
35	2018/10/13	個人	大分県豊後大野市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.5kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、機体を見失い紛失した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・現在確認中 【是正措置】 ・現在検討中

No.	発生日	飛行させた者 又は所属団体 等	飛行場所	機体 (種類、特徴等)	事案の概要	航空法上の許 可・承認の可否	許可・承認 の有無	当局の対応	報告された原因分析及び是正措置
36	2018/10/24	個人	神奈川県藤沢市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.0kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたと ころ、突如制御不能となり海上に墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	有	・操縦技量や天候等を考慮した飛行 を心がける等、安全飛行の徹底につ いて指導した。	【原因分析】 ・飛行場所が砂浜だったことから、砂 埃等がモーターに悪影響を及ぼした と考えられる。 【是正措置】 ・飛行可否の判断を慎重に行うととも に、砂浜からの離陸は必ず離陸用 パットを使用する。
37	2018/10/29	行政機関	青森県三戸郡	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.3kg	・調査のため無人航空機を飛行させていたと ころ、突如制御不能となり紛失した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	無	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・機体の運用限界を超える突風が発生 したことにより、機体が操作可能範囲 外まで流されたものと考えられる。 【是正措置】 ・地上及び上空や地形等による風速 の違いを十分に把握するため、飛行 場所に応じた適切な風速確認を実施 する。
38	2018/10/29	個人	鹿児島県熊毛郡	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約0.82kg	・趣味のため無人航空機を飛行させていたと ころ、機体の位置が把握できなくなり墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	有	・操縦技量や天候等を考慮した飛行 を心がける等、安全飛行の徹底につ いて指導した。	【原因分析】 - 【是正措置】 -
39	2018/11/1	個人	福島県南相馬市	マルチコプター 全長約112cm、 最大離陸重量約 9.1kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたと ころ、機体が山林に入り込み墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・飛行経路上の障害物の有無を十分 に把握せずに飛行させたものと考え られる。 【是正措置】 ・飛行させる前に地図や目視で飛行 経路の事前調査を徹底する。
40	2018/11/1	個人	滋賀県大津市	マルチコプター プロペラ除く直径 約60cm、最大離 陸重量約3.4kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたと ころ、機体の位置が把握できなくなり墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	第132条の2第2 号(目視外飛 行)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・機体の周囲の監視を怠ったためと 考えられる。 【是正措置】 ・機体の周囲の状況を十分に把握す るよう監視を徹底する。
41	2018/11/14	通信関連業者	千葉県木更津市	マルチコプター 全長約180cm、 全高約50cm、重 量約10kg	・試験飛行のため無人航空機を飛行させて いたところ、突如制御不能となり駐車中の車両に 接触した。 ・本件事案による人の負傷はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は1時間以上。	不要	無	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・飛行中に予期せぬ突風に煽られた ものと考えられる。 【是正措置】 ・天候および飛行場所周辺の状況に 十分注意した上で飛行可否の判断を 行う。
42	2018/11/16	点検関連業者	滋賀県蒲生郡	マルチコプター プロペラ除く直径 約26cm、最大離 陸重量約1.9kg	・施設点検のため無人航空機を飛行させて いたところ、突如制御不能となり墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は12時間以上。	不要	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・突如位置情報の受信が出来なくなり、 樹木に接触して墜落したものと考 えられる。 【是正措置】 ・精度の高い位置情報を取得するた め、ソフトウェアを更新することし た。
43	2018/11/17	個人	埼玉県和光市	マルチコプター プロペラ除く直径 約17cm、最大離 陸重量約0.4kg	・操縦訓練のため無人航空機を飛行させて いたところ、突如制御不能となり紛失した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は70時間以上。	不要	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・現在確認中 【是正措置】 ・現在検討中
44	2019/11/18	個人	福岡県筑紫郡	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約0.82kg	・操縦訓練のため無人航空機を飛行させて いたところ、突如制御不能となり墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は30時間以上。	不要	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・電波障害と考えられる。 【是正措置】 ・飛行前に電波障害の有無を確認し て飛行させる。

No.	発生日	飛行させた者 又は所属団体 等	飛行場所	機体 (種類、特徴等)	事案の概要	航空法上の許 可・承認の要否	許可・承認 の有無	当局の対応	報告された原因分析及び是正措置
45	2018/11/23	個人	愛媛県新居浜市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.5kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、樹木に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・撮影対象に意識を集中したため、操縦を誤ったものと考えられる。 【是正措置】 ・飛行経路周辺に障害物がある場合は、障害物との距離に余裕を持って飛行させる。
46	2018/11/29	空撮関連業者	宮城県刈田郡	マルチコプター 直径約156cm、 重量約7.0kg	・環境調査のため無人航空機を飛行させていたところ、突如通信が途絶し紛失した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	第132条の2第2号(目視外飛行)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・現在確認中 【是正措置】 ・現在検討中
47	2018/12/3	測量関連業者	山形県東村山郡	マルチコプター プロペラ除く直径 約122cm、最大 離陸重量約 15.5kg	・試験飛行のため無人航空機を飛行させていたところ、着陸時、降着装置が誤作動したため、姿勢を崩し、無人航空機が飛行させる者と補助者に接触した。飛行させる者と補助者は裂傷及び打撲を負った。 ・本件事案による第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・着陸時に無人航空機の降着装置が誤作動し、機体の姿勢が不安定になったものと考えられる。 【是正措置】 ・無人航空機の可動部分の定期点検を徹底するとともに、関係者から十分な距離を保って飛行させる。
48	2018/12/7	個人	大分県中津市	マルチコプター プロペラ除く直径 約122cm、最大 離陸重量約 15.5kg	・測量のため無人航空機を飛行させていたところ、鉄線に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・誤った飛行経路を設定して自動飛行を行ったものと考えられる。 【是正措置】 ・飛行経路上の障害物等の有無を確認した上で飛行計画を策定する。
49	2018/12/19	測量関連業者	千葉県千葉市	マルチコプター プロペラ除く直径 約122cm、最大 離陸重量約 15.5kg	・試験飛行のため無人航空機を飛行させていたところ、突如制御不能となり墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。	不要	無	・原因分析及び再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・機体と搭載機器の間で何らかの問題が発生したものと考えられる。また、異常発生時の緊急停止動作が遅れたことも墜落に至った要因と考えられる。 【是正措置】 ・障害物に衝突した際の防護策として機体にプロペラガードを装着するとともに、適切な緊急停止動作が行える体制とする。
50	2018/12/20	講習関連業者	島根県益田市	マルチコプター プロペラ除く直径 約86cm、最大離 陸重量約21kg	・実証試験のため無人航空機を飛行させていたところ、突如制御不能となり樹木に接触して墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は130時間以上。	第132条の2第2号(目視外飛行)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・現在確認中 【是正措置】 ・現在検討中
51	2018/12/20	報道機関	福島県郡山市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.5kg	・報道取材のため無人航空機を飛行させていたところ、樹木に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は60時間以上。	第132条第2号(人口集中地区)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・障害物との距離が十分把握できていなかった。また、監視員を適切な位置に配置していなかったものと考えられる。 【是正措置】 ・飛行前に飛行経路の周辺を確認するとともに、適切な位置に監視員を配し、飛行させる者と連絡を密にする。
52	2018/12/30	個人	兵庫県三田市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約0.82kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、バッテリー切れとなり墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は26時間以上。	第132条の2第2号(目視外飛行)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・飛行当時の気温が低かったため、バッテリーの性能低下等が考えられる。 【是正措置】 ・気温が低い時は、バッテリーの残量に十分注意し、不要な飛行は控える。
53	2019/1/3	個人	神奈川県藤沢市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約0.82kg	・趣味のため無人航空機を飛行させていたところ、機体を見失い海上に墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は25時間以上。	第132条第2号(人口集中地区)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・現在確認中 【是正措置】 ・現在検討中

No.	発生日	飛行させた者 又は所属団体 等	飛行場所	機体 (種類、特徴等)	事案の概要	航空法上の許 可・承認の要否	許可・承認 の有無	当局の対応	報告された原因分析及び是正措置
54	2019/1/3	個人	三重県熊野市	マルチコプター プロペラ除く直径 約30cm、最大離 陸重量約0.48kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたと ころ、突如バッテリーの残量が低下し墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は22時間以上。	不要	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・製造者の原因分析によると機体の 不具合が確認されたとのことであ った。 【是正措置】 -
55	2019/1/9	電力関連業者	兵庫県高砂市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.5kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたと ころ、バッテリー切れとなり墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は50時間以上。	第132条第2号 (人口集中地 区)、第132条の 2第2号及び第3 号(目視外飛行 及び30m未満の 飛行)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・バッテリーが満充電ではない状態で 飛行を開始したところ、バッテリー残 量の低下を知らせる警告が想定より も早く表示されたが、飛行を続行した ものと考えられる。 【是正措置】 ・飛行前後におけるバッテリー残量の 確認を徹底する。
56	2019/1/15	個人	大分県日田市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.5kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたと ころ、プロペラが脱落し墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は75時間以上。	不要	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・プロペラの取り付け不良と考えられ る。 【是正措置】 ・飛行前にプロペラの取り付け状態に ついて再確認を徹底する。
57	2019/1/22	電力関連業者	福岡県嘉麻市	マルチコプター プロペラ除く直径 約122cm、最大 離陸重量約 15.5kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたと ころ、飛行経路から逸脱し鉄塔に接触して墜落 した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	第132条の2第2 号(目視外飛 行)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・現在確認中 【是正措置】 ・現在検中
58	2019/1/23	個人	富山県南砺市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.5kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたと ころ、樹木に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は90時間以上。	不要	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・船舶における操縦であったため、揺 れなどによる不安定な状況で起きた 操縦ミスと考えられる。 【是正措置】 ・船舶等で操縦する際は、着座するな ど安定した姿勢で操作する。また、障 害物の有無等の注意喚起について、 補助者との連携を徹底する。
59	2019/1/28	個人	千葉県君津市	マルチコプター プロペラ除く直径 約80cm、最大離 陸重量約1.5kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたと ころ、設定した飛行経路を逸脱し山林に墜落し た。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は20時間以上。	不要	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・自動操縦の設定ミスや突風により 飛行経路から逸脱したものと考えら れる。 【是正措置】 ・自動操縦の設定方法を再確認する とともに、設定後のチェック方法を定 めて徹底する。また、天候の急激な 変化を察知した場合は、飛行を中止 する。
60	2019/1/28	個人	徳島県三好市	マルチコプター プロペラ除く直径 約122cm、最大 離陸重量約 15.5kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたと ころ、山林に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は22時間以上。	第132条の2第2 号(目視外飛 行)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・機体の位置情報の受信が不安定と なり、機体と障害物の距離を見誤っ たものと考えられる。 【是正措置】 ・充分な距離や高度を確保し、異常を 検知した際は速やかに着陸させるよ う徹底する。
61	2019/1/29	個人	鹿児島県南さつ ま市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約1.5kg	・無人航空機を飛行させていたところ、通信状 態が不安定となり制御不能となって送電線に 接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は31時間以上。	不要	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・操縦者の現場状況に対する認識不 足と考えられる。 【是正措置】 ・飛行させる者を中心に安全確認会 議を実施する。
62	2019/1/29	個人	大阪府大東市	マルチコプター プロペラ除く直径 約50cm、最大離 陸重量約0.59kg	・無人航空機を飛行させていたところ、強風に より制御不能となり紛失した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件 の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は15時間以上。	第132条第2号 (人口集中地 区)	無	・原因分析及び再発防止策の検討を指 示した。	【原因分析】 ・操縦者の知識および技量不足が主 因であるが、直接的には建物性の突 風が機体の操縦性能を超えたことが 考えられる。 【是正措置】 ・航空法の指導および屋外使用の禁 止を徹底し、機体に所有者の連絡先 を明記する。

No.	発生日	飛行させた者 又は所属団体 等	飛行場所	機体 (種類、特徴等)	事案の概要	航空法上の許 可・承認の要否	許可・承認 の有無	当局の対応	報告された原因分析及び是正措置
63	2019/1/30	港湾関係業者	石川県金沢市	マルチコプター プロペラ除直径 約40cm、最大離 陸重量約1.3kg	・調査のため無人航空機を飛行させていたところ、突如通信が途絶し制御不能となり墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は47時間以上。	不要	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・現在確認中 【是正措置】 ・現在検討中
64	2019/1/30	個人	岡山県倉敷市	マルチコプター プロペラ除直径 約60cm、最大離 陸重量約3.4kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、樹木に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は1060時間以上。	第132条第2号 (人口集中地区)、第132条の 2第3号(30m未 満の飛行)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・操縦者、監視員ともに接触した場所の対岸に配置していたため樹木との距離感が掴めなかったものと考えられる。 【是正措置】 ・飛行前の障害物等の確認を密に行い、適切な場所に監視員を配置する。
65	2019/2/1	個人	長野県茅野市	マルチコプター プロペラ除直径 約40cm、最大離 陸重量約1.5kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、突如制御不能となり紛失した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は80時間以上。	第132条の2第2 号(目視外飛 行)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・送信機に電波障害を示す警告が表示されたことから、強い電波障害を受けたものと考えられる。 【是正措置】 ・飛行前に飛行場所や機体の状態について安全確認を徹底する。
66	2019/2/2	個人	熊本県阿蘇郡	飛行機 全長約1.2m、全 幅約2.2m、最大 離陸重量約1.9kg	・趣味のため無人航空機を飛行させていたところ、離陸直後に風に煽られ墜落した。墜落後、バッテリーが発火し周囲に延焼した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	第132条第1号 (空港等周辺及 び150m)	無	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・手投げにより発航した直後に風に煽られ機体の姿勢が不安定になったものと考えられる。また、延焼に至った要因として、バッテリーの取り付け状態が不十分であったものと考えられる。 【是正措置】 ・飛行前後にバッテリーの取り付け状態の確認を徹底する。
67	2019/2/5	報道機関	埼玉県飯能市	マルチコプター プロペラ除直径 約40cm、最大離 陸重量約0.82kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、樹木に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・現在確認中 【是正措置】 ・現在検討中
68	2019/2/11	個人	北海道小樽市	マルチコプター プロペラ除直径 約40cm、最大離 陸重量約0.82kg	・操縦訓練のため無人航空機を飛行させていたところ、突如制御不能となり墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	有	・操縦技量や天候等を考慮した飛行を心がける等、安全飛行の徹底について指導した。	【原因分析】 - 【是正措置】 -
69	2019/2/17	空撮関連業者	京都府京都市	マルチコプター プロペラ除直径 約40cm、最大離 陸重量約1.5kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、突如制御不能となり墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は50時間以上。	第132条第2号 (人口集中地区)、第132条の 2第3号(30m未 満の飛行)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・現在確認中 【是正措置】 ・現在検討中
70	2019/2/22	個人	群馬県富岡市	マルチコプター プロペラ除直径 約40cm、最大離 陸重量約0.82kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、樹木に接触した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は32時間以上。	不要	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・送信機の操作に気を取られたため、周囲の状況や機体の姿勢への注意不足と考えられる。 【是正措置】 ・飛行状況や周囲の状況の監視を徹底するとともに、飛行範囲を最小限に留める。
71	2019/2/26	個人	茨城県常総市	マルチコプター プロペラ除直径 約38cm、最大離 陸重量約0.5kg	・試験飛行のため無人航空機を飛行させていたところ、突如制御不能となり墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は13時間以上。	不要	無	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・飛行中の急減速によりプロペラに負荷が生じて脱落したものと考えられる。 【是正措置】 ・プロペラに脱落防止対策を施すとともに、急減速等の急激な操作は行わない。

No.	発生日	飛行させた者 又は所属団体 等	飛行場所	機体 (種類、特徴等)	事案の概要	航空法上の許 可・承認の要否	許可・承認 の有無	当局の対応	報告された原因分析及び是正措置
72	2019/3/5	配送関連業者	福島県南相馬市	マルチコプター 全長約112cm、 最大離陸重量約 9.1kg	・操縦訓練のため無人航空機を飛行させていたところ、突如非常用パラシュートが展開し不時着した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	第132条の2第2号(目視外飛行)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・現在確認中 【是正措置】 ・現在検討中
73	2019/3/9	個人	長野県飯山市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約0.82kg	・無人航空機を飛行させていたところ、樹木に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	第132条の2第2号(目視外飛行)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・現在確認中 【是正措置】 ・現在検討中
74	2019/3/13	個人	神奈川県横浜市	マルチコプター プロペラ除く直径 約40cm、最大離 陸重量約0.82kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、バッテリー切れとなり墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は50時間以上。	第132条第2号(人口集中地区)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・強風により機体が流され帰還操作を行うも、バッテリーが切れて墜落したものと考えられる。 【是正措置】 ・飛行前に気象情報等の確認を徹底するとともに、飛行中は機体の状況を常に監視する。また、急激な天候の変化等を察知した際は速やかに機体を安全に着陸できるよう訓練を行う。
75	2019/3/13	機械関連業者	千葉県千葉市	マルチコプター 全長約65cm、最 大離陸重量約 3.0kg	・展示飛行のため無人航空機を飛行させていたところ、突如制御不能となり紛失した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は27時間以上。	第132条第2号(人口集中地区)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・上空は地上よりも強い風が吹いていたため、自動帰還できず風に流されたものと考えられる。 【是正措置】 ・無人航空機にリールタイプの暴走防止装置を取り付けて飛行させるとともに、飛行前に気象状況の確認を徹底する。
76	2019/3/14	個人	福井県福井市	マルチコプター プロペラ除く直径 約60cm、最大離 陸重量約3.4kg	・測量のため無人航空機を飛行させていたところ、通信が途絶し紛失した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は81時間以上。	第132条の2第2号(目視外飛行)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・飛行場所が見通しの悪い山林であったため、通信状態が不安定となったものと考えられる。 【是正措置】 ・飛行前の現地調査を徹底し、適切な飛行経路を設定する。
77	2019/3/17	個人	福岡県北九州市	マルチコプター プロペラ除く直径 約60cm、最大離 陸重量約1.5kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、突如制御不能となり墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は25時間以上。	第132条第2号(人口集中地区)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・電波障害や自機位置の検知機能の動作不良と考えられる。 【是正措置】 ・電波障害を受ける恐れがあるところでは飛行させない。また、自機位置の検知機能に影響を及ぼすと考えられる薄暮時の飛行は行わない。
78	2019/3/20	報道機関	大阪府吹田市	マルチコプター プロペラ除く直径 約60cm、最大離 陸重量約3.4kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、突如制御不能となり観覧車に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は110時間以上。	第132条第2号(人口集中地区)、第132条の2第3号(30m未満の飛行)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・機体が操縦操作と異なる方向に移動したことから、電波障害を受けたものと考えられる。 【是正措置】 ・障害物等から十分な距離を確保して飛行させる。
(※) 79	2019/3/22	空撮関連業者	大阪府枚方市	マルチコプター プロペラ除く直径 約60cm、最大離 陸重量約3.4kg	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、飛行経路を逸脱し不時着した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	第132条第2号(人口集中地区)	有	・原因分析及び再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・現在確認中 【是正措置】 ・現在検討中

(国土交通省では、報告者等への個別の指導のほか、無人航空機による事故等の防止に役立てるため、関連団体等に対し、情報提供等を行っているところ。)

※上記79件の報告のほか、平成30年度に農林水産省に報告のあった空中散布における無人航空機の物損事故等の件数は65件。